



Recruit Guide

写真提供・宮城県観光プロモーション推進室



「共感」・「協奏」・「変革」ともにつくる東北。

2025



写真提供・宮城県観光プロモーション推進室



経済産業省
東北経済産業局



東北経済産業局とは…

経済産業省の地方支分部局の一つであり、東北地域の経済や産業の発展を幅広い分野からサポートしています。

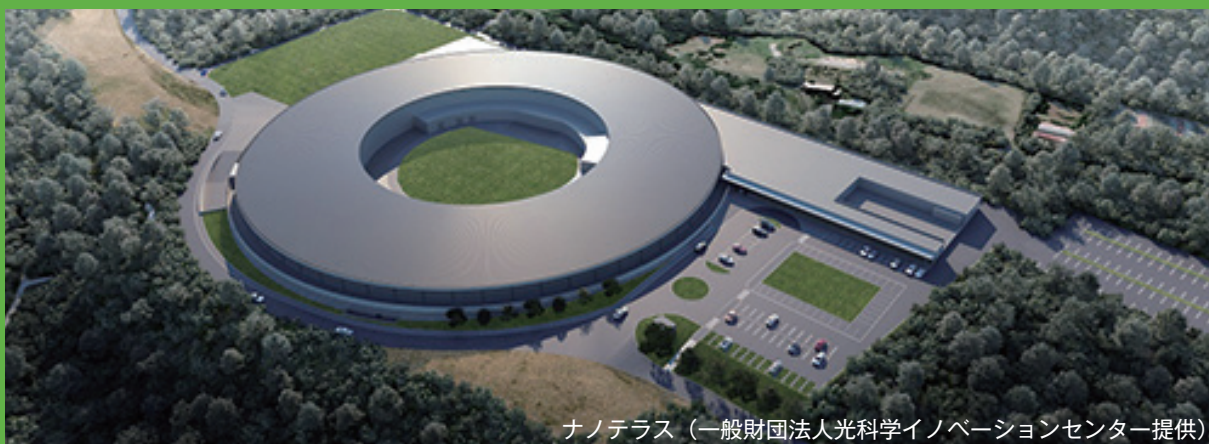
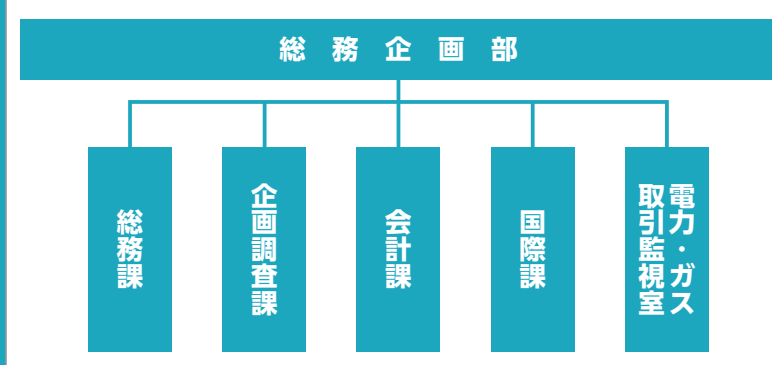


Regional Economy Society Analyzing System

地域経済分析システム

総務企画部

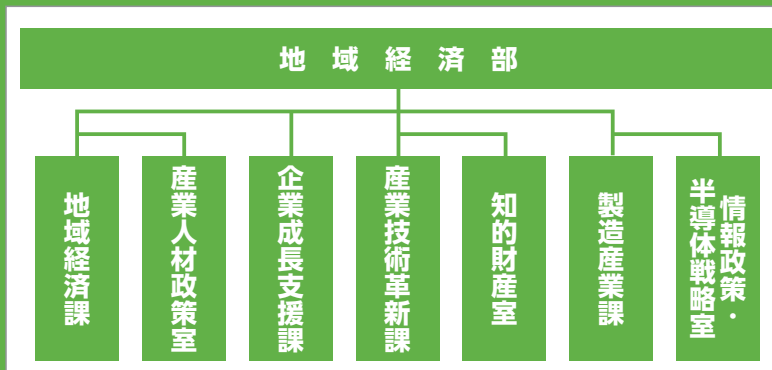
組織全体の総合調整／予算執行／通商／海外展開／地域サポーター／東北地域経済の発展に向けた政策の企画・立案／地域経済分析システム（RESAS: リーサス）を活用した分析etc.



ナノテラス（一般財団法人光科学イノベーションセンター提供）

地域経済部

地域未来牽引企業／人材確保／リスクリング／産業インフラ／省力化・省人化／DX推進／半導体産業／製造業／創業・スタートアップ支援／産学官連携／産業標準化／知的財産権etc.



「共感」・「協奏」・「変革」ともにつくる東北。

「共感」・「協奏」・「変革」

ともにつくる東北。

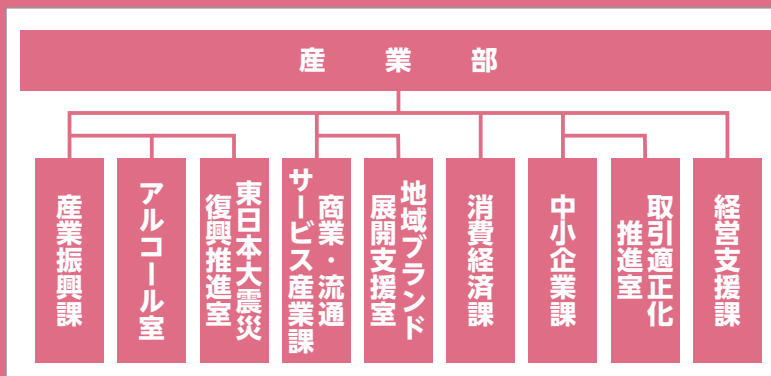
東北地域は、全国に先駆けて進む人口減少や少子高齢化、東日本大震災からの復興など多くの課題に向かい合っています。このような中で、東北経済産業局は、経済産業省のブロック機関として、東北地域の持続可能な経済社会の実現を目指した取組を進めています。こうした取組を推進するにあたり、「共感」「協奏」「変革」を組織理念として掲げています。



いしのまき元気市場（石巻市役所提供）

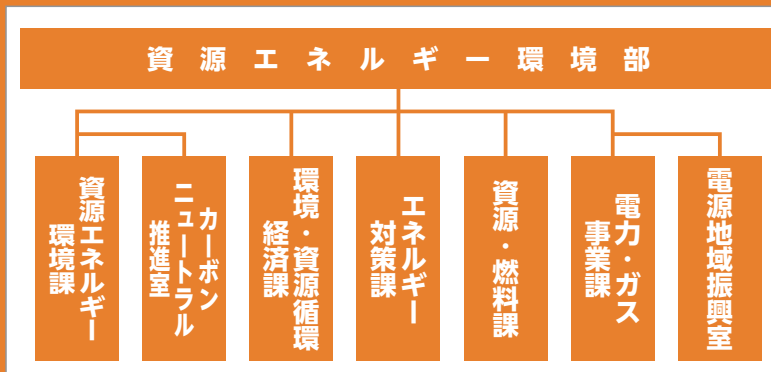
産 業 部

商店街・まちづくり／観光産業／コンテンツ産業／消費者行政／事業承継・再生／経営支援／資金繰り支援／下請取引適正化／商工団体／伝統的工芸品／地域ブランド／復興支援／水産加工業支援etc.



資源エネルギー環境部

エネルギー政策／GX（グリーントランスフォーメーション）／カーボンニュートラル／リサイクル／サーキュラーエコノミー／省エネルギー／再生可能エネルギー／鉱業／電力・ガス事業／電源地域振興etc.



職員からのメッセージ

カーボンニュートラルで東北地域に貢献

2050年カーボンニュートラルに向けて、水素エネルギー、洋上風力、地域新電力、J-クレジット制度などに関わる業務をしています。早速難しい単語の羅列…と思われたかもしれません。私も配属当初は不安に思うことがありましたが、何でも答えてくださる上司・先輩に御指導いただきながら、業務に励んでいます。一言でカーボンニュートラルといっても、単に温室効果ガス排出量を減らすだけではなく地域活性化と両立していくことが必要であり、最も重要な分野の一つであるエネルギー政策により幅広い視点で携わるため、勉強の日々です。

私は特に「J-クレジット制度」の推進に係る業務を担当しており、令和5年度にはこの制度を活用して、仙台市内飲食店で森林保全に関わる実証事業を行いました。若手でも意見が出せる場に自ら立候補して参画できる機会に恵まれていると実感しました。

【飲食店のカーボンニュートラルに向けて（若手プロジェクト）】

カーボンニュートラル推進室が事務局となり、若手職員による「地域飲食店×森林J-クレジットプロジェクトチーム」が発足。仙台市内の飲食店9店舗の協力の下、若手職員と飲食店で打ち合わせを重ね、森林J-クレジット寄付型の特別メニューを設定、販売し、少し高価でも環境に配慮した商品を消費者は購入してくれるのか等を調査しました。

参加した職員からは「一筋縄ではいかない部分もありましたが、本務とは全く違う分野に関わることができて勉強になりました。」との声が上がりました。寄付額は21,010円、オフセット量は、1.80t/CO₂でした。各店舗のCO₂排出量削減に貢献しました。



係員 係長 課長補佐 課長

資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進室

みつはし
三橋 みずき

(撮影協力)
Route227s'Cafe TOHOKU
by humming bird様



経済の現場で伝わる広報を

経済産業局では、本省で策定した政策や事業等を、管内の企業等ステークホルダーや国民に、真摯に丁寧に伝え、現場の声を聞き、信頼関係を築くことが重要な役割だと思います。本省出向時、政策立案の経験をして多くのことを学びながらも、それを実感しました。

そうした経済産業局としての広報活動が効果的に実施できるよう、HPやブリシティ（報道）、メルマガ、SNS等の広報媒体を運営、活用しています。局職員自身がメディアになって、企業等に対面で情報発信することも多い職場です。経済の現場でのお仕事は、世の中を見る目線が磨かれ、思考の幅が広がって、やりがいがあると思います。「共感」・「協奏」・「変革」ともにつくる東北。ぜひ!!

係員 係長 課長補佐 課長

総務企画部 総務課
広報・情報システム担当

はやし ともこ
林 朋子

「とーかく（東北経済産業局公式note）」

私たちは、仕事柄、地域の課題や震災復興に向き合い、奮闘する姿、文化や伝統、地域資源を愛し、造り、磨く手、脱炭素化に向けた変革に真摯に取り組む目、未来を変えるイノベーション技術、そんな活力に日々出会い、そうした方々と語り合い、プロジェクトを共にし、一人の人間として、感動し、興奮し、心躍らすことがあります。

「とーかく」では、そうした心揺さぶられた実体験を新人もベテランもライターとなり、投稿しています。



東北経済産業書く



様々な世代の先輩職員から、これまでの経験や仕事に対する想い、
また入局希望者へのメッセージを綴っていただきました。

局の持つ幅広い視点と施策で地域を支える製造業を支援!

製造産業課は、地域を支えるものづくり産業全般の振興や、ロボット導入等の省人化の取組の支援を実施しています。一方で、化学兵器禁止法や種の保存法等に関して、事業者の皆さんの遵守状況を確認する業務も担当しています。

東北地域は、話題の半導体産業や自動車産業等ポテンシャルの高いものづくり産業があります。また、現在私が担当している医療機器産業についても、東北地域が生産を伸ばしており、国内でのシェアも大きい分野となっています。現在、医療機器の開発支援拠点を中心に産学官で連携を深めて、更なる医療機器開発支援に取り組んでいるところです。様々な施策も使ってもらわなければ効果を発揮できません。東北経済産業局の職員は、そうした施策を必要としている企業等にかに届けるか、どのように効果的に活用いただくかということに関わることが多く、施策がその目的を達するため、大事な役割を担っていると日々感じながら仕事をしています。

係員

係長

課長補佐

課長

地域経済部
製造産業課

さ さ き たくみ
佐々木 巧



共に考え、楽しみ、行動していきましょう。

中小企業課では、地域経済社会の持続・発展に資するよう中小企業の事業継続・活性化に向けて取り組んでいます。物価高や人手不足等、中小企業が直面する多様な課題に対応するため、支援機関のネットワーク強化を促進し、地域一体での中小企業に寄り添った対応を推進しています。

また、復興支援やものづくり分野の振興等、これまでも様々なプロジェクトに携わりました。

復興支援では、水産加工業振興、ものづくり分野における半導体産業の振興、いずれも東北地域を支える重要産業です。特に最近では、半導体分野において、地域の産学官の皆様の協力を得ながら、人材育成やサプライチェーンの強化方策等を検討、実践してきました。

地域の多様な意見を伺いつつ、俯瞰的に物事を捉え、複雑に絡み合う課題を紐解きながら、政策効果の最大化を目指し対策を考え、実践していくのですが、決して一人ではなく、関係する職員がチームとして取り組んでいます。それは困難な場面も多くありますが、楽しくもあり充実感のある業務でもあるかと思います。

共に考え、楽しみ、行動していく。是非共に取り組んでいきましょう。



係員

係長

課長補佐

課長

産業部
中小企業課

いしかわ しゅんすけ
石川 俊介

「地域サポーター制度」について

地域の皆さんと密接に連携しながら施策を広め、推進するための制度です。

東北各県に「地域サポーター」を設置し、全職員が地元や愛着のある県等、いずれかの「県チーム」に所属しています。

各地域の総合窓口として、ご相談内容に応じた施策紹介やアドバイス等を行うとともに、事業者の方から“現場の声”を聞くための企業訪問、自治体等とのネットワーク構築を行っています。



▲活動例:山形県サポーターによる自治体との意見交換会

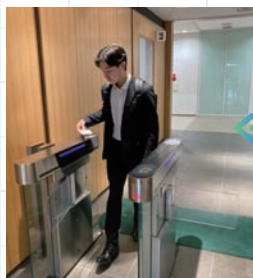
若手職員の1日

電源地域振興室では、名前のとおり、電源立地地域（＝発電所等が立地する地域）の振興に係る業務に携わっています。その中でも私は、発電所等が立地する自治体が地域振興等に活用できる交付金や、エネルギー構造の高度化に向けた事業に活用できる補助金の執行を担当しています。



資源エネルギー環境部
電源地域振興室

あげつま ゆうた
揚妻 勇大（3年目職員）



登庁

登庁後まずメールや一日のスケジュールを確認。その日やるべき仕事を朝一で整理することで、効率良く仕事ができます！

8:25



10:30

自治体担当者との オンラインミーティング

電源立地自治体からの交付金に関する相談に、オンラインミーティングで対応。個々案件に対して、自治体に寄り添った対応を心がけています！



ランチ

仲のいい後輩を連れてランチへ！大好きな蕎麦を頂きます。

12:00



13:30

会議に向けた資料作成

担当者会議に向けて、資料を作成。上司に確認しながら、自分が発表する際の資料を仕上げます。

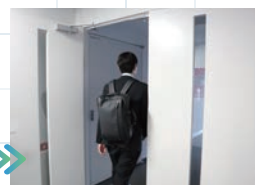


交付金・補助金執行のための書類調査

各種法律、規則等や過去の経緯等も確認しながら、交付金・補助金を執行します。過年度の執行状況がどうなっているか、交付規則に適しているか、日々勉強です！

15:00

17:30



退庁

効率良く仕事を進めて、早めに退庁。業務時間後は飲み会やスポーツレク等がよく開催されています！

「メンター制度」について

採用職員の皆さんが円滑に職場に馴染んでいただけるよう、「メンター」とよばれる年次の近い先輩職員がサポートを行う制度です。採用職員の相談や質問に対して助言を行っています。タテ（上司）・ヨコ（同僚）に限らず、ナナメ（先輩）の関係を構築し、職場適応をサポートします！



東北経済産業局の若手職員は、どのような仕事をし、どのような毎日を送っているのでしょうか？
若手職員2名のとある1日をご紹介します！



登庁

今日は午後から出張デーです。一日元気に頑張ります。

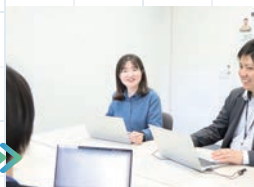
8:30



昼休み

民間事業者さんにご協力いただき、「三陸常磐もの」を使用したお弁当の局内での購買企画を実施しています。今回は有志と一緒に食べます♪

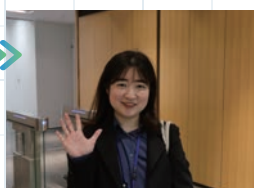
10:30



内部での打合せ

当室では水産加工業向けの人材確保支援事業を行っており、今後の事業の進め方について、担当で打合せを行いました。疑問点や業務を進める上で悩むことがあれば、気軽に相談ができる環境です。

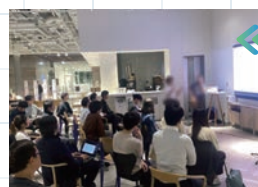
12:00



出張へ出発！

午後は出張に出かけます。行ってきます！

15:30



イベント開始

人材確保支援事業の一環として、東京で大学生向けのイベントを開催しました！イベントを通じて参加いただいた学生の皆様に、水産業界に親しみを持ってもらいました。

17:30



退勤

久々の東京で疲れしました。今日は直帰して明日に備えます！

東日本大震災復興推進室は、復興支援や水産加工業を含む水産業の振興を担当しています。各種イベントや説明会など開催しているほか、企業訪問、相談対応等を行っており、企業の皆様との距離が近く、どうすればお役に立てるかを考えながら、業務に励んでいます。



産業部
東日本大震災復興推進室

たなか ゆき
田中 結希（8年目職員）

「部内勉強会」について

各部において、若手職員や出向者等を対象に、職員間の交流や部の業務理解を目的とした勉強会を行っています。令和5年度は部内各課室の業務紹介等を行うほか、施設見学や企業訪問等、外部へと活動を広げ、自分の所属課を越えて学ぶことができる機会となっています。



▲先輩職員との座談会（産業部）

メガワット級に東北を盛り上げよう！ ～技官へのインタビュー～



総務企画部
総務課 課長補佐
さ た け よ し み
佐 竹 義 美

○専攻と入局されたきっかけ

▷専攻と公務員を志望したきっかけを伺ってもよろしいでしょうか？

・大学では地球物理学を専攻していました。公務員を志望したきっかけは、幼少期に地域交流プログラムに参加したことです。地域交流の場に参加して、異なる地域の同年代と交流を深め友情を育むことができ、自身の成長につながるようなよい経験ができたと感じたので、将来日本を担う子どもたちにも同じような経験をしてもらいたいと考えようになりました。

○キャリアパス・業務内容

▷これまでのキャリアをお伺いしてもよろしいでしょうか。

・初めに配属されたのは、環境資源課という部署ですね。総括として部全体も見渡していました。採用面接において資源について話したことが起因して配属されたのかもしれません（笑）。

・その後、循環型産業振興課に配属され、循環型社会の実現に向けて、研究会活動等による産学官ネットワークのさらなる強化や販路開拓等支援を通じて、関連産業の振興に取り組みました。使用済み携帯電話等の都市鉱山や使用済み超硬工具等を対象としたマテリアルリサイクルシステムの構築に向けた議論・試行に携わりました。非鉄製錬業界における課題解決を志す研究会を発足する等、東北の資源について学ばせていただきました。

・また、大学に出向し、産学連携担当として、企業との共同研究開発に関する側方支援、国の研究開発支援制度への申請支援等に関わらせていただきました。東北地域の事業者との共同研究に自ら代表者として携

わったこともありました。

・本省へ出向した際には、日本産業規格や国際標準の整備・普及等を担当する国際標準課に配属されました。日本産業標準調査会事務局として、産業標準化法に基づいて産業標準化に関する審議を担当したり、業界団体等が行う国際標準化活動について予算面で支援したりしていました。

▷実際に、研究での知識を用いる機会がありましたか？

・あまりなかったですね（笑）。もちろんこれまでに学んだ基礎知識は大事だなと感じる瞬間はありました。国際標準課では、造形精度：±40μ以下、m/歩のような単位の考え方の知識は役立ちました。技官、事務官問わず、単位・数字等が何を意味するか考える力があればさらに楽しく業務に向き合うことができます。

・自動車産業振興室への配属もありました。事業者の要望に添ったOB人材活用支援の他、ダイキャスト技術等に関する研究会やプラスチック加工技術研究会の運営も担当し、自動車関連産業のものづくり等について勉強になりました。

・その他、復興支援業務（グループ補助金の執行、水産加工物の魅力発信等）を担当しまして、現在の「総務課」に至ります。復興支援業務としては、ALPS処理水の海洋放出に関する風評被害対策として、水産加工物の国内・国外（東南アジア）への販路開拓・拡大を目的とした展示会出展支援などにも携わらせていただきました。

○巡り合わせ

▷様々な経験の中で、印象に残っている体験をお聞かせください。

・福島県の大葉町役場へと出向をしていたのですが、その際に東日本大震災がありました。役場職員として、大葉町の住民の皆様と共に、さいたまスーパーアリーナへと避難しました。

・震災の前日ですが、浜通りの経済人有志があつまる勉強会に参加していて、大葉町役場から経産局に戻ってから勉強会に参加することを皆さんと約束しました。震災によりお互いに避難して、居場所が不明となっていたのですが、昨年、12年ぶりに再会できてうれしかったです。ご縁がある方との関係を大切にしなければと、一層強く感じました。

・これから入局される皆さんが技官として、事務官として、どんなキャリアを歩んでも、支えていただいている方々との巡り合わせを大切にしていきたいと思います。

○心がけていること

▷業務の上で、重要な点、大切にしていることはありますか。

・関心を高く持ち、誠実に人と付き合うことは、大事なな～と感じます。あとはやっぱりポジティブな方、前向きな方と仕事し

たいですね。

・私が携わらせていただいたエネルギー関係の仕事では、振興の業務に限らず、法律に基づく、執行業務がありました。産業振興・技術開発等の推進業務に目を向けられがちですが、法律の執行、規制業務も重要な職務であることを改めて意識することが必要だと思っています。

○東北の技術を担う方々、求める技官。

▷様々なことを学んだと伺いましたが、実際、ご自身の専攻からどのように広がったのでしょうか？

・局の魅力の一つですが、電気、化学、マテリアル等の分類に問わず、その道のプロと出会う機会があることは、最良の経験でした。私の場合も、そういう機会が多々あったことが非常に幸運でした。

・研究するプロセスを学んでいること、自分の専門分野を持っていることは非常にアドバンテージだと思います。一つのことを深く研究した経験は、その分野の先進者と話す上で、また、地域の人、技術の担い手と会話をする上で、非常に重要だと感じていました。

・自動車やプラスチック、非鉄金属業界に片足を入れてみると、面白い技術、話を持った方が必ずいらっしゃいました。その道のプロから学ぶことは多く、また、深く考えさせられますし、こちらの問いが響くと、先方との距離がグッと縮まる気がします。

・好奇心をもつことで、学びが広がっていきます。日々勉強していくことも重要ですが、疑問に思ったら迷わず聞くことも大事です。そのとき、出会った人があなたのキャリアとなります。技術者、その道で働いている方と接する機会が、東北経済産業局にはあります。

・同じ技官でも、ゼネラリストとスペシャリストがいます。一度、どのキャリアを目指すか考えてもよいのではないのでしょうか。

○突き詰めていきたい分野

▷今後携わりたい分野はありますか？

・資源には関わっていききたいですね。マテリアル分野、電気分野は、法律規制、技術振興に関わらず注目していきたいと思っています。今まで関わってきた非鉄金属等のマテリアルリサイクルや洋上風力発電人材育成等、資源・エネルギー関係の東北地域の技術、それに伴う、国際標準規格等の分野についても、総務課という立場も経験しながら、フォローしていきたいと考えています。

○最後に一言。

▷これから入局される方へ向けて、一言お願いします。

私たちと共に、東北の技術を世界の冠たる技術にしていきたいと思います！

ワークライフバランスについて

男性の育休

私は当時2ヶ月間の育児休業を取得しました。取得に際して、男性が育児休業を取っても大丈夫なのかという不安がありましたが、上司や同僚の理解やフォローもあり、お陰様で子どもの成長を感じる貴重な日々を送ることができました。また、復帰後もテレワークや休暇制度を用い、育児と仕事をバランス良く取り組ませていただいております。当局は多種多様な働き方ができる制度が充実しており、その制度を活用することに対して、とても寛容ある職場だと思いますので、ワークライフバランスも大事にしたいという方におすすめです！



資源エネルギー環境部
エネルギー対策課

かめい てつや
亀井 鉄矢



女性の社会復帰

4歳の男の子を育てながらフルタイムで働いています。出産後は約1年の育児休業を取得し、その後復帰しました。復帰して1年～2年は、子の体調不良で何度も保育園から呼び出しがありましたが、子の看護休暇やテレワークなど各種制度の活用に加え、上司や同僚など周りのサポートのおかげで乗り越えることができました。育児と仕事の両立は大変なこともありますが、当局は子育てに対する理解が深く、安心して働き続けることができる職場だと思います。



産業部
経営支援課

すずき なな
鈴木 奈々



平均残業時間

月平均
15.7時間
(令和5年度実績)

男性育休取得率

100%
(令和5年度実績)

月イチ年休の 取得率

79.3%
(令和5年度実績)

男性の育児参加の
ための休暇
最大5日

出産に係る子どもの養育のため、妻の出産予定日の6週間前から出産後1年間までの間に5日まで取得可能な休暇です。
※別途配偶者出産休暇や育休等の取得も可能です。

子の看護休暇
**1年間に
5日まで**

小学校に入学するまでの子どもの看護等のため、1年間に5日（子が2人以上の場合は10日）の範囲内で特別休暇を取得することができます。

育児時間
1日

2時間まで

子供を養育するため、子供が小学校に入学するまでの間、1日を通じて2時間を超えない範囲内で勤務時間を短縮することが可能です。

＼私たち新入職員です！／



新入職員インタビュー

新規採用職員（令和5年10月入局）



産業部
商業・流通サービス産業課
いずみ たいが
和泉 大河

私の所属する課では、商店街振興、ヘルスケア、観光コンテンツなどを担当しております。

入局から半年ですが、たくさんの人、場所、情熱と出会い、日々発見や刺激を得ています。特に印象的だった業務は、大阪万博を契機とする企業の取組発信支援に携わったことです。入局して最初に作成した広報資料をもとに、企業への情報発信、説明、申請のブラッシュアップを一貫して行うなど、事業者の前向きなチャレンジを実際に後押しする経験ができました。

年度途中での入局には不安や迷いもありましたが、いつでも気軽に質問できる環境があり、スムーズに馴染んでいくことができました。また、業務内外を問わず交流の場も多く、風通しの良い明るい雰囲気最大の魅力だと思います。

ぜひ、熱意のある皆さんの入局をお待ちしています！

経験者採用職員（令和5年4月入局）

前職では信用金庫で主に法人営業に従事し、預金や事業性融資、補助金支援などを行っていました。日々、経営者や実権者と第一線で向き合う中で培った傾聴力は、様々な機関と協働する当局においても役立っていると感じています。

配属となった東日本大震災復興推進室では、被災地域の雇用創出を図る補助金や、被災企業の施設や設備の復旧を支援する補助金など、当局だからこそできる、やりがいのある業務に携わらせていただいております。

また、入局後感じたのは組織としての風通しの良さです。年齢や職位に関係なく提案や意見を聞いてもらえる風土があり、自分次第でやりたいことに関わるチャンスをつかめる環境だと思います。ぜひ東北の持続可能な成長のために一緒に働いてみませんか。



産業部
東日本大震災復興推進室
さとう かな
佐藤 花奈



Q 休日や休暇制度について教えてください。

A 休日は完全週休2日制で土・日曜日＋祝日が休日です。休暇制度については、年次休暇(有給休暇)、特別休暇(夏季、結婚、出産、子の看護など)が整備されており、「男の産休」(妻の出産や育児参加にともなう休暇)取得などを特に奨励しています。また育児・介護などのライフイベントにより働き方が多様になる方でも活躍できるよう、フレックスタイムやテレワークなどの制度も充実しています。

Q 各種手当について教えてください。

A 各種手当については、地域手当や住居手当、通勤手当、超過勤務手当、単身赴任手当などがあります。

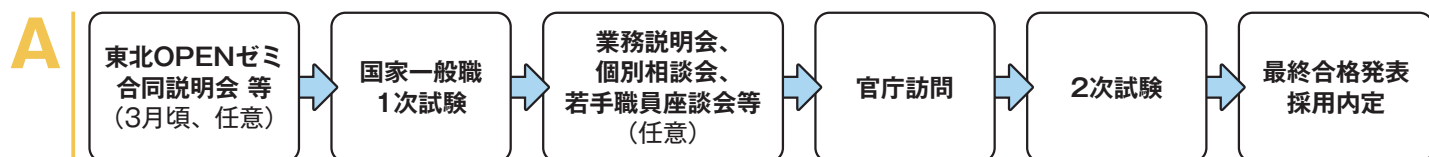
Q 異動・転勤について教えてください。

A 人事異動は、各人の能力を十分に発揮できるよう、毎年職員から希望調査をとり、適正などを勘案し総合的に決めています。若手職員は局の業務を幅広く経験し、豊富な知見を身につけられるよう、概ね1～2年ごとに異動があります。

Q 研修制度はありますか？

A 採用時には、東北経済産業局内での研修に加え、経済産業研修所(東京都東村山市)において、数日間の新規採用職員研修があり、経済産業省で働く心構えや基礎知識を学ぶほか、全国の同期と交流を深めることができます。その後は、業務に必要な会計知識を習得するための研修や、個人のスキルアップを目指すPC研修等も用意されています。役職ごとの研修や専門的な業務に従事する職員向けに参加者を限定した研修もございますが、基本的には個人のスケジュールが合えば、いつでも誰でも参加可能です。また、局内の課室が企画・実施する研修や、若手職員を中心とした勉強会もあり、1年を通して様々な研修が行われています。

Q 採用までの流れについて教えてください。



近年の採用人数(令和6年度は10月採用も含む)

入局年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
採用者	10	11	9	7	8
行政系	7	11	7	4	7
技術系	3	0	2	3	1



本パンフレットは令和5年度入局者の企画により制作しています

東北経済産業局では、ホームページ（職員採用情報のページ）において動画による組織紹介、先輩職員からのメッセージなどを公開しています。東北経済産業局に関する情報が満載ですので、こちらもぜひ御覧下さい！

●職員採用情報のページは右記のQRコードよりアクセスをお願いします。



経済産業省
東北経済産業局

Tohoku Bureau of Economy,
Trade and Industry

〒980-8403 宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番1号
仙台合同庁舎B棟

- JR仙台駅より徒歩15分
- 地下鉄南北線勾当台公園駅より徒歩3分

TEL 022-221-4852